

『心の錦』

心錦

ボロは着てても ころの錦…… とは

昭和四十年代初めの流行歌の歌詞です 元々この言葉は

老子の「被褐懷玉」という言葉が下地になっていると言われています

外見はみすばらしくても

内面に玉のような美しい心や 優れた能力を持っていることもある

身なりだけで人を判断するなどという 日本人好みのフレーズです

天理教教祖・中山みき様の言葉の中に

「心の皺」という語があります

「心の皺を、話の理で伸ばしてやるのやで。

心も、皺だらけになったら、 落とし紙のようなものやろ。

そこを、落とさずに救けるが、この道の理やで。」（逸話篇四五）

一度使用した紙も丁寧に皺を伸ばせば 再び使えるのと同じように

いつの間にか失ってしまった 人の心本来の輝きを取り戻し

その能力を発揮させ 神人和楽の世界を建設するために

この教えを拓いたのであると お教えくださいました

ストレスの時代と云われる現代 何かの要因で 知らず知らずのうちに

大切な心の錦が皺だらけになっている場合が多くないでしょうか

このような時代だからこそ 天理教の教会をお訪ね下さい

教会では 心の皺を伸ばす方法を各種取り揃えて

あなたをお待ちしております



※落とし紙…ちり紙のこと

★ご相談・お問い合わせは…

『心の錦』

心錦

ボロは着てても ころの錦…… とは

昭和四十年代初めの流行歌の歌詞です 元々この言葉は

老子の「被褐懷玉」という言葉が下地になっていると言われています

外見はみすばらしくても

内面に玉のような美しい心や 優れた能力を持っていることもある

身なりだけで人を判断するなどという 日本人好みのフレーズです

天理教教祖・中山みき様の言葉の中に

「心の皺」という語があります

「心の皺を、話の理で伸ばしてやるのやで。

心も、皺だらけになったら、 落とし紙のようなものやろ。

そこを、落とさずに救けるが、この道の理やで。」（逸話篇四五）

一度使用した紙も丁寧な皺を伸ばせば 再び使えるのと同じように

いつの間にか失ってしまった 人の心本来の輝きを取り戻し

その能力を発揮させ 神人和楽の世界を建設するために

この教えを拓いたのであると お教えくださいました

ストレスの時代と云われる現代 何かの要因で 知らず知らずのうちに

大切な心の錦が皺だらけになっている場合が多くないでしょうか

このような時代だからこそ 天理教の教会をお訪ね下さい

教会では 心の皺を伸ばす方法を各種取り揃えて

あなたをお待ちしております



※落とし紙…ちり紙のこと

★ご相談・お問い合わせは…